

2003年8月19日(本リリースは、2003年8月6日に米国で発表されたプレスリリースの日本語版です。)

[ご参考]

## ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ、 2003年第2四半期の業績発表

純利益は5億700万ドル、1株当たり利益(希薄化後)は1.88ドル  
日本における変額年金保険の資産残高は3,736億円を突破

[米国 コネチカット州ハートフォード 2003年8月6日]

大手保険および金融サービス会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ (NYSE: HIG、以下「ハートフォード」) は本日、2003年第2四半期(2003年4~6月、以下「当四半期」)の業績を発表しました。当四半期の1株当たり純利益は、前年同期の0.74ドル(希薄化後)から1.88ドル(希薄化後)に増加し、純利益は5億700万ドルで前年同期の1億8,500万ドルに比べ3倍近くまで拡大しました。また、前年同期は1億600万ドル(税引後)の正味実現キャピタル・ロスを計上したのに対し、当四半期は1億6,700万ドル(税引後)の正味実現キャピタル・ゲインを計上しました。

前年上半期(2002年1~6月)は4億7,700万ドルの純利益を計上しましたが、2003年上半期(2003年1~6月、以下「当上半期」)は、第1四半期にアスベスト関連の責任準備金積み増しを実施した結果、8億8,800万ドルの純損失を計上しました。ただし、前年上半期の1億700万ドル(税引後)の正味実現キャピタル・ロスに対し、当上半期は1億3,300万ドル(税引後)の正味実現キャピタル・ゲインを計上しています。

ハートフォードの会長兼最高経営責任者であるラマニ・アイアーは次のように述べています。「当四半期は高水準の業績を達成することができました。収入、経常利益ともに前年同期比17%増を記録、1株当たり経常利益(希薄化後)は9%増を記録しました」。

### 日本における業績

ハートフォードの日本法人であるハートフォード生命保険株式会社では、当四半期の変額年金保険販売額が714億円を超え、資産残高は2003年3月末の2,741億円から2003年6月末には3,736億円に増加しました。また、営業を開始した2000年12月からの累計販売額は、2003年6月末現在で3874億円を超えています。

### ハートフォードの当四半期業績の概要

- ・ 変額年金保険の販売額は前年同期比で82%増加、2003年第1四半期に比べ22%増加し、業界最高の42億ドルを記録しました。
- ・ 変額年金保険の解約額は1999年第4四半期以来の最低水準である15億ドルにとどまり、正味キャッシュフロー(販売額から解約額とその他の引出額を引いた額)が25億ドルと過去最高水準に達しました。
- ・ ミューチュアル・ファンドの販売額は10億ドルを超え、2003年第1四半期比で36%増加しました。

- ・ 401(k)、政府および団体向け投資商品販売が引き続き好調な伸びをみせています。
- ・ 北米損害保険事業のコンバインド・レシオ(損害率と経費率との合計値)は、当四半期の災害損失 1 億ドル(コンバインド・レシオの 4.7 ポイント分)と再保険事業部門における責任準備金 5,900 万ドルの積み増し(コンバインド・レシオの 2.8 ポイント分)を含めて 99.7 ポイントでした。
- ・ 北米損害保険事業(事業損害保険、企業物件スペシャルティ保険および個人損害保険)の経過保険料は前年同期比 14%増の 20 億ドルに達しました。
- ・ 人員再構成計画は目標を達成、当四半期に 2,700 万ドル(税引後)の中途脱退給付費用を計上しました。その結果、2004 年末までに年間人件費を現在より年間 1 億 6,500 万ドル低い水準まで下げる目標の達成に向けて着実に前進しています。
- ・ 信託優先証券 1 億 8,000 万ドルの償還と、普通株 12 億ドル、エクイティ・ユニット 6 億 9,000 万ドル、社債 2 億 5,000 万ドルの発行により、資本の再構成を完了しました。
- ・ 従業員用退職年金基金に 3 億ドルの自発的事前積立を実施しました。
- ・ 損害保険再保険市場からの撤退を発表し、エンデュアランス・スペシャルティ・ホールディングス・リミテッドに更新権利を譲渡しました。

アイアーは次のように述べています。「当四半期においては、運用資産が 2003 年 3 月末より 11%増加して 2,270 億ドルに達し、その他の包括利益累積額を除外した 1 株当たりの簿価が 7%増加して 34.34 ドルに達しました。その他の包括利益累積額を算入した場合には、1 株当たりの簿価は 2003 年末比 10%増の 40.75 ドルに達しています。連結ベースでの株主資本利益率(ROE)は、過去 12 カ月の正味実現キャピタル・ゲイン(ロス)およびアスベスト関連経費(第 1 四半期に配賦)を除外すると 14.5%と当社の目標を達成しています。」

さらに、年金保険販売が記録的水準に達したことについて、「ハートフォードの投資商品部門は、退職後の安定した生活への備えを必要としているベビーブーマー世代のニーズに応える商品を提供し業界をリードしてきました。当社が当四半期に導入した新世代の変額年金商品は際立った販売成果を挙げています。また、生命保険事業部門に関しては、当四半期の変額年金保険の販売額は当社のみならず業界全体でも過去最高を記録しています。さらに変額年金保険の正味キャッシュフローも、こうした記録的な販売に加えて解約率が低水準に推移したことで、過去最高の 25 億ドルに達しました」と述べています。

損害保険市場における価格が引き続き高水準に推移したことについては、「当社では損害保険事業全般にわたり、2004 年にも目標リターンと事業の成長を達成できるよう尽力します」と述べています。

次頁の表は、事業損害保険、個人損害保険、企業物件スペシャルティ保険および再保険部門の引受業績と、生命保険、損害保険および北米損害保険事業を含めたその他の全事業部門の経常利益を示しています。

事業部門別業績 (単位：100万ドル)	第2四半期(4~6月)			上半期(1~6月)		
	2003年	2002年	増減	2003年	2002年	増減
<b>生命保険事業部門(経常利益)</b>						
個人年金	\$ 112	\$ 89	26%	\$ 183	\$ 179	2%
その他の投資商品	29	29	—	56	56	—
投資商品合計	141	118	19%	239	235	2%
個人生命保険	36	35	3%	68	66	3%
団体給付保険	35	30	17%	69	58	19%
企業加入生命保険	9	10	(10%)	19	10	90%
その他	(10)	(16)	38%	(27)	(15)	(80%)
<b>生命保険事業経常利益合計</b>	<b>211</b>	<b>177</b>	<b>19%</b>	<b>368</b>	<b>354</b>	<b>4%</b>
<b>損害保険事業部門</b>						
北米損害保険事業(引受業績)						
事業損害保険	42	(8)	NM	30	(4)	NM
個人損害保険	3	(24)	NM	55	(35)	NM
企業物件スペシャルティ保険	(4)	8	NM	(4)	(2)	(100%)
再保険	(76)	(9)	NM	(95)	(13)	NM
引受業績合計	(35)	(33)	(6%)	(14)	(54)	74%
正味投資収益	257	234	10%	500	451	11%
サービシングとその他の収益	3	1	NM	6	3	100%
その他の費用	(78)	(58)	(34%)	(123)	(109)	(13%)
法人税	(18)	(25)	28%	(63)	(50)	(26%)
北米損害保険事業 の経常利益合計	129	119	8%	306	241	27%
その他の事業の経常利益 (2003年実施のアスベスト関連 責任準備金積増しを除外)	13	1	NM	27	1	NM
損害保険事業部門経常利益 (2003年実施のアスベスト関連 責任準備金積増しを除外)	142	120	18%	333	242	38%
2003年実施のアスベスト関連 責任準備金積増し	—	—	—	(1,701)	—	—
<b>損害保険事業部門経常利益合計</b>	<b>142</b>	<b>120</b>	<b>18%</b>	<b>(1,368)</b>	<b>242</b>	<b>NM</b>
<b>持株会社による支払い利息等</b>	<b>(13)</b>	<b>(6)</b>	<b>(117%)</b>	<b>(21)</b>	<b>(12)</b>	<b>(75%)</b>
経常利益 (2003年実施のアスベスト関連 責任準備金積増しを除外)	340	291	17%	680	584	16%
2003年実施のアスベスト関連 責任準備金積増し	—	—	—	(1,701)	—	—
経常利益(損失)	340	291	17%	(1,021)	584	NM
正味実現キャピタル・ゲイン (ロス)	167	(106)	NM	133	(107)	NM
<b>純利益(損失)</b>	<b>\$ 507</b>	<b>\$ 185</b>	<b>174%</b>	<b>\$ (888)</b>	<b>\$ 477</b>	<b>NM</b>

ハートフォードは、200%以上の増減、またはネット・ゲインからネット・ロスあるいはその逆の場合の変動を「NM」(該当せず)と定義しています。

ハートフォードの経常利益および2003年に実施したアスベスト関連責任準備金積増しを除外した経常利益は、GAAP会計基準に準拠しない方式で算出されています。非GAAP方式に関する詳細は、後述の「非GAAP方式による財務数値の算出方法について」の項をご参照ください。

## 投資商品

株式市場の好転を背景に、販売が伸び、かつ解約が低水準に留まったことで、投資商品事業の経常利益は改善しました。投資商品運用資産残高は2003年3月末の1,101億ドルから14%増

加して1,250億ドルに達しました。個人年金運用資産残高も2003年3月末から約100億ドル増大し、2003年6月30日現在、840億ドルに達しています。変額年金保険については、銀行および証券会社双方の販売チャネルが好調で、販売額は2003年第1四半期の34.3億ドルに比べて22%増加し、業界過去最高の42億ドルに達しました。この結果、変額年金保険業界の新規販売額におけるハートフォードのマーケットシェアは、前四半期の11%から13%に拡大しています。一方、解約率は前年を17%下回り、解約額は15億ドルに留まりました。定額年金保険は、低金利が続く中、当社の規律ある料率設定にもかかわらず、販売額は前年同期の4億3,200万ドルから1億200万ドルに減少しました。その他の投資商品の販売額は2003年第1四半期を80%上回る27億ドルに達しました。

なお、当四半期の生命保険事業の収益には、過年度に主として投資商品関連で発生した3,000万ドルの課税軽減額が算入されています。

### 個人生命保険

当四半期の個人向け生命保険部門の経常利益は、死亡率の低下がプラスに作用し、僅かに増加しました。販売額は3,700万ドルで、2003年第1四半期から200万ドル減少しています。ユニバーサル生命保険の新商品の導入に伴い、新たなマーケティング・販売促進活動を展開しています。

### 団体給付保険

団体給付保険は、堅実な契約査定と支払請求管理が奏効し、純利益は引き続き拡大して前年同期比17%増を記録しました。買収分を除いた完全保証型の販売額は、料率設定が厳しさを増しているにもかかわらず、前年同期比で2%増の9,200万ドルに達しました。当社では団体給付保険の販売拡大のため、新たなマーケティング・販売促進活動を展開しています。

### 事業損害保険

当四半期は2.5ポイントのコンバインド・レシオに相当する大規模な災害損失が発生したにもかかわらず、コンバインド・レシオは94.4に改善しました。市場環境の改善、新規契約料率の2桁上昇および新規契約の拡大で、収入保険料と経過保険料が17%に増加しました。料率の上昇率は、損失及びコストの上昇率を上回っています。

### 個人損害保険

当四半期に発生した災害が個人損害保険に重要な影響を及ぼした結果、コンバインド・レシオは8.2ポイント上昇の99.0となりました。米国退職者協会(AARP)の会員向け自動車/住宅保険の収入保険料は11%増加し、独立代理店を通じた個人損害保険商品の販売も7%拡大しています。料率引き上げが引き続き損失及びコストの上昇率を上回っており、米国内全域で適正料率となりつつあります

### 企業物件スペシャルティ保険

当四半期の災害損失は2.5ポイントで、コンバインド・レシオが93.2に改善されました。経過保険料は29%、収入保険料は16%それぞれ増加し、契約条件の改善と損害保険引受の選択基準の強化により経常利益が改善しました。

### 再保険

ハートフォードは当四半期に、損害保険再保険事業の大部分をエンデュアランス・スペシャルティ・ホールディングス・リミテッドに売却しました。この取引の一環として、未経過保険料積立金の譲渡と継続更新権の売却が実施されました。当社は再保険市場から撤退した結果、当四半期の収入保険料はマイナスとなり、経過保険料は前年同期の1億7,200万ドルに対し、6,300万ドルに留まりました。さらに当社は、前年の引受実績が不調だったため、5,900万ドルの準備金積み増しを計上しました。これらの要因により、7,600万ドルの正味保険引受損失

が発生し、コンバインド・レシオは 222.8 となっています。

### 経費削減と資本の再構成

当社が 2003 年 5 月に発表した経費削減および資本の再構成に関する一連の対策は予定通り進展しています。2003 年 6 月 30 日現在、当社は 850 人の従業員に対し解雇を通知し、当四半期に 2,700 万ドル(税引後)の中途脱退給付の費用を計上しました。

### 資産運用

2003 年 6 月 30 日現在、固定満期投資資産(保証型分離勘定含む)は 687 億ドルでした。固定満期投資資産の未実現利益は 2002 年末から 14 億ドル増加して 51 億ドルに達し、未実現損失は 1 億 7,800 万ドル減少して 3 億 6,000 万ドルとなりました。投資資産の質は前年度末と同水準、投資資格に達しない固定満期投資資産の比率は 5.2%となっています。また、当四半期の投資資産の不良資産は信用市場の改善を反映して、前年同期の 2 億 3,600 万ドルから 2,700 万ドル(税引前)に縮小しています。なお、前年同期の投資資産の不良資産にはワールド・コム社に関連した 1 億 1,000 万ドルの損失が算入されています。金利低下に伴い、当四半期の平均投資利回りは前年第 2 四半期に比べ、税引後ベースで 4.4%から 4.0%(税引後)に低下、税引前ベースで 6.2%から 5.8%に低下しました。

### 2003 年の見通し

株式市場が改善し、損害保険料率も堅調に推移、当社の中核事業は引き続き高水準で推移すると予想されるため、2003 年度 1 株当たり経常利益の見通しを 4.95 ドル~5.20 ドルに引き上げました。なお、正味実現キャピタル・ゲイン/ロスと 2003 年第 1 四半期に実施したアスベスト関連責任準備金積増は除外しています。

なお、生命保険事業および損害保険事業に影響を及ぼす市場の諸条件の変化、例えば、株式市場の変動に伴う投資商品の経常利益見通しの変化、予想を超える災害損失の発生、定期的に行われる全保険部門に対する損失準備金の見直しによる悪影響など、多数の要因によって、経常利益の見通しに変更される可能性があります。

\* \* \* \* \*

### アナリスト説明会

当社は 2003 年 8 月 7 日午前 9 時(東部時間)にアナリスト説明会を行い、第 2 四半期の業績および 2003 年の最新の経常利益の見通しを発表しております。スライド・プレゼンテーションは、当社のウェブサイトでご覧いただけます。(www.thehartford.com/ir/index.html)

### 非 GAAP 方式による財務数値の算出方法について

ハートフォードの経常利益およびアスベスト関連の責任準備金積み増しを除外した経常利益および純利益は、「非 GAAP 方式」で算出されています。ここで使用している当社の算出方法は、他社の算出方法と異なるため、投資家の皆様は、当社の「非 GAAP 方式」のデータと他社のデータを比較される際には十分な注意が必要です。

ハートフォードでは業績を評価する上で、経常利益を重視しています。当四半期における経常利益とは、純利益から税引き後の実現キャピタル・ゲイン(ロス)を除いた数字になります。当社では、投資家の皆様に当社の業績を正確に把握していただく上で、変動の激しいキャピタル・ゲイン(ロス)を除いた経常利益が重要な目安になると考えています。純利益は GAAP 基準に則った会計数字となっています。当四半期、当上半期および 2002 年における経常損益から純損益への調整と経常損益の算出方法については上述をご参照ください。

また当社では、投資家の皆様に既存事業の健全性を理解していただくために、2003 年に実施したアスベスト関連の責任準備金積み増しは過去の事業に関連するものとし、税引き後のアスベスト関連の責任準備金積み増しを除外した経常利益を報告しています。純利益は GAAP 基準の数字となっ

ています。2003年に実施したアスベスト関連責任準備金積み増しを除外した当四半期、当上半期および2002年における経常利益に対する純損益の調整と経常損益の算出方法については上述をご参照ください。

収入保険料は、GAAP方式に基づかない予見的記述であります。当社の損害保険事業の業績を表す重要な要素とみています。収入保険料には決算年度に発行された保険契約に見合う保険料総額となっているため、投資家の皆様にはこの数字を参考に、ハートフォードの現在の事業の基盤となる動向について理解を深めていただきたいと思います。経過保険料は、GAAP基準による会計に最も近い数字になっており、決算年度において収益と認められる保険料の総額を表します。収入保険料と経過保険料との差額は、未経過保険料積立金の変化に拠るものです。

ハートフォードに関するより詳細な財務情報の入手をご希望の方は、当社のホームページ([www.thehartford.com](http://www.thehartford.com))にアクセスしてThe Hartford's Investor Financial Supplementのページをご覧ください。

ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループは米国で最も由緒ある大手保険および金融サービス会社の一つであり、2003年6月30日現在の総資産は、2,078億ドル、株主資本は115億ドルに達しています。ハートフォードは、投資金融商品をはじめ、各種生命保険、団体生命保険、自動車保険、住宅保険、法人向け損害保険を提供しています。ハートフォード生命保険株式会社はハートフォードの日本法人です。

本リリースには、1995年私募証券訴訟改正法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において定義されている将来の見通しに関する断言が含まれています。これには、当社の業績及び事業見通しが含まれます。投資家の皆様にはこのような将来の見通しに関する断言が、当社の将来の業績を保証するものではなく、また実際の業績は大きく異なる可能性があることをご了解願います。また投資家の皆様におかれましては、当該リスクおよび不確定要素が将来の当社業績に影響を及ぼす可能性があることをご理解、いただきます。

このような重要なリスクおよび不確定要素として、今後のアスベスト訴訟の展開およびその他の環境問題に係わる訴訟の展開が当社に及ぼす影響などが上げられます。特に現在係争中のマッカーサー社およびその子会社であるウェスタン・マッカーサー社との間での決着、同時多発テロ事件に関連した被害賠償、2003年雇用と成長のための減税措置法(Jobs and Growth Tax Relief Reconciliation Act of 2003)における、とりわけ長期キャピタル・ゲインや配当配分の税率引き下げに伴う影響、再保険契約を結んでいる再保険会社への対応、再保険率引き上げに拠る影響、将来の損失を回収するための適切な再保険契約が結べるかどうか、当社の財務状況や年金商品の支払い義務から生じる業績に株式市場の変動が与える影響を効果的に軽減できなかった場合、また予想を上回る被害、経済および景気の悪化、金利および株価の変動、競争の激化、規制・法律の改正、司法上の展開により当社に損失が生じる可能性、予想を上回る頻度・深刻度での自然災害の発生などが上げられます。また、当社では、本リリース発表後にその内容を更新する義務を負いません。

この件に関するお問い合わせ先は下記にお願いします：

当社のお客様ならびにはじめてのお客様　：　03 - 5777 - 8684

報道関係　：

ハートフォード生命保険株式会社　または　ギャビン・アンダーソン・アンド・カンパニー  
コーポレート・リレーション部　電話：03-5404-0640  
エルズワースまたは橋詰  
03-5777-8000